



SeaV セット

スタートアップマニュアル

あっと免税 SeaV セットのご利用ありがとうございます。

このマニュアルは導入時の手順についてご案内しています。

パスポートリーダー読み取りテクニック

- I. パソコンの設置
- II. あっと免税アプリの設定
- III. 基本操作

【参考】履歴を確認するには



カスタマーセンター: 0827-28-5130

受付時間: 平日 10:00~18:00

あっと免税 SeaV セット スタートアップマニュアル

I. パソコンの設置

A. 電源アダプターとケーブルの接続

1. パソコン本体背面下部カバーをはずし、電源アダプターとパソコン本体を接続します。

◆プラグの向きにご注意ください。プラグの矢印が向こう側(パソコン前面側)になるように取り付けます。



2. 電源アダプターのケーブルは下から外側に引き回します。

◆電源ケーブル側のプラグは3Pプラグになっています。3Pプラグ用の延長コード、または3P→2Pアダプタをご使用ください。



B. ロール紙の取り付け

1. パソコン本体右側面のレバー(右図赤丸)を下に押し、ロール紙ホルダーを開きます。



2. ロール紙を右の写真のように入れ、ロール紙を上から引き出しホルダーに挟み込むようにして閉じます。



C. 電源の入れ方

- パソコン本体左側面の電源ボタンを押して電源を入れます。



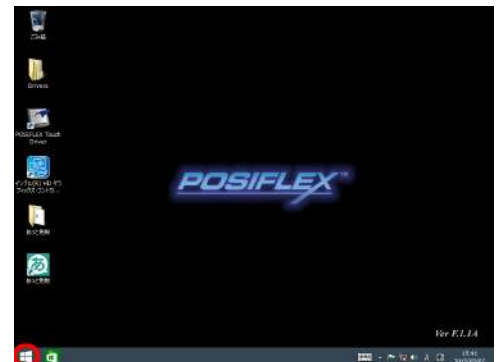
D. 電源の切り方

1. あつと免税TOPの右上にある×をタップして、あつと免税を終了します。



2. Windows 8 版の場合

- a. デスクトップ右下のWindowsボタンをタップします。

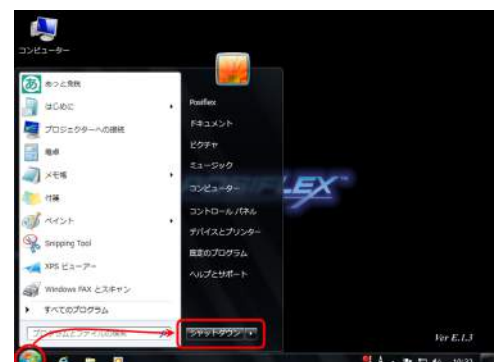


- b. 右上の ⏻ をタップして、「シャットダウン」をタップします。



3. Windows 7 版の場合

- Startボタンをタップして、「シャットダウン」をタップします。



II. あつと免税アプリの設定

A. ライセンス登録

◆[無料お試し期間中]のボタンが表示されていない場合は、この操作は必要ありません。

「B. 店舗情報」の設定へお進みください。

1. [無料お試し期間中]のボタンをタップします。



2. 「ライセンス番号」入力欄をタップするとソフトウェアキーボードが立ち上がりますので、弊社よりお知らせした「アクティベーションキー」を入力して[登録]ボタンをタップします。



B. 店舗情報

1. START画面の右下にあるギアアイコンをタップします。



2. [ログイン]ボタンをタップします。



3. [店舗ごとの設定]をタップします。



4. [店舗情報]をタップします。



5. 店舗情報を入力します。入力が終わったら左上の「<設定/戻る」をタップします。



6. 確認画面で[はい]をタップします。



C. アプリ基本設定

1. [アプリ基本設定]をタップします。



2. 「伝票番号文字列(SAMPLE-)」を任意の文字列に変更します(空白でも結構です)。

3. 「プリンター接続文字列」が[PP Demo]になっていることを確認します。

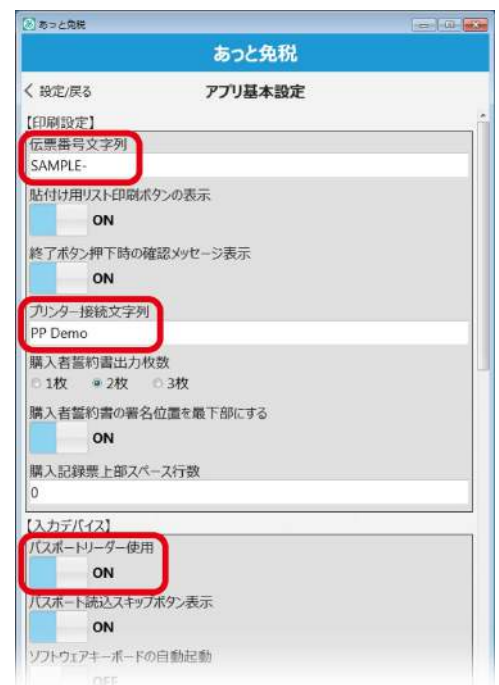
- ◇半角英字
- ◇PPとDは大文字
- ◇PPとDの間は半角スペース

4. 「パスポートスキャナ利用」をONにします。

5. 必要に応じてほかの項目を設定します。

- ◆入国日をOFFにした場合、必ず手書きで書き入れなければなりません。

6. 左上の三角ボタンをタップして設定を終了します。




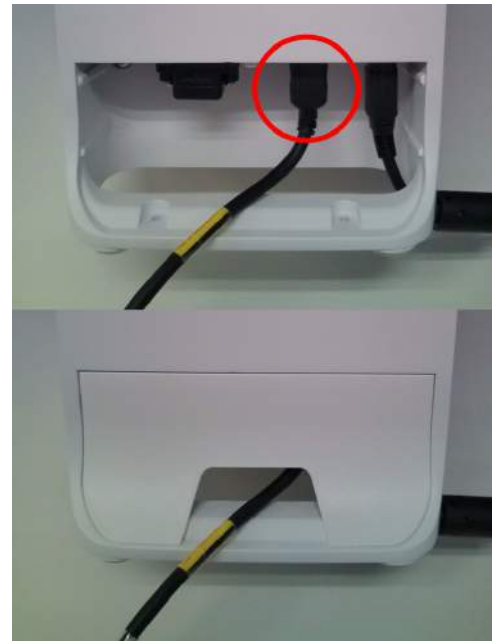
III. 基本操作

A. パスポートリーダの接続

USBポートにパスポートリーダを接続します。

〈右図〉背面下部に接続する場合

1. USBマーク  が向こう側(パソコン前面側)になるように接続します。
2. USBを接続したらカバーを取り付けます。



B. あつと免税アプリで操作を開始

1. 「免税手続き TAX FREE START」をタップします。



2. 言語を選択して[NEXT→]ボタンをタップします。



3. パスポートリーダでパスポートの機械読取り用コードをスキャンして[NEXT→]ボタンをタップします。

◆パスポートリーダで読み取れないときは [直接入力する] ボタンをタップして、直接入力します(光沢のあるパスポートで、周りの照明が強いと読み取れないことがあります)。



4. 旅券の種類を選択して[NEXT→]ボタンをタップします。



5. 入国日を設定して[NEXT→]ボタンをタップします。



6. 在留資格を選択して[NEXT→]ボタンをタップします。



7. 設定内容の確認画面が表示されます。名内容に問題がなければ[NEXT→]ボタンをタップします。
修正するには、各項目の右側にある[rewrite]ボタンをタップし、それぞれの項目で修正します。



8. 「店員へお渡しください。」の画面で右下のプリンタアイコンをタップします。



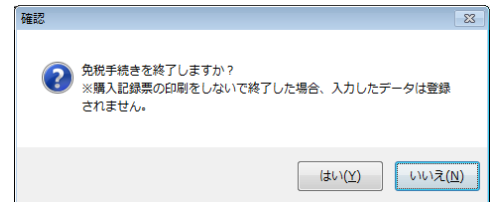
9. 「印刷」画面で、[①購入記録票 / 誓約書印刷][②貼付け用リスト印刷]ボタンをそれぞれタップして印刷します。

10. 印刷が終わったら[終了]ボタンをタップします。



11. 「確認」画面が表示されたら[はい]をタップします。

[①購入記録票 / 誓約書印刷]を印刷した場合は、この画面が表示されてもデータは登録され、履歴として確認することができます。



【参考】履歴を確認するには、以下の操作を行います。

1. START画面で右下のギアアイコンをタップします。
2. [購入記録票/誓約書の参照]ボタンをタップします。
3. 以下のいずれかの条件を入力して[検索]ボタンをタップします。

○ 旅券番号

○ 伝票番号

■ 連番の数字部分のみ

(II-C-2. で入力している伝票番号文字列は不要です)

例: 456

例: 00456

○ 購入日 (YYYY/MM/DD)

■ YYYY = 西暦年 (4桁で入力します)

■ MM = 月 (2桁で入力します。4月 = 04)

■ DD = 日 (2桁で入力します。4日 = 04)

例: 2015年4月4日 = 2015/04/04

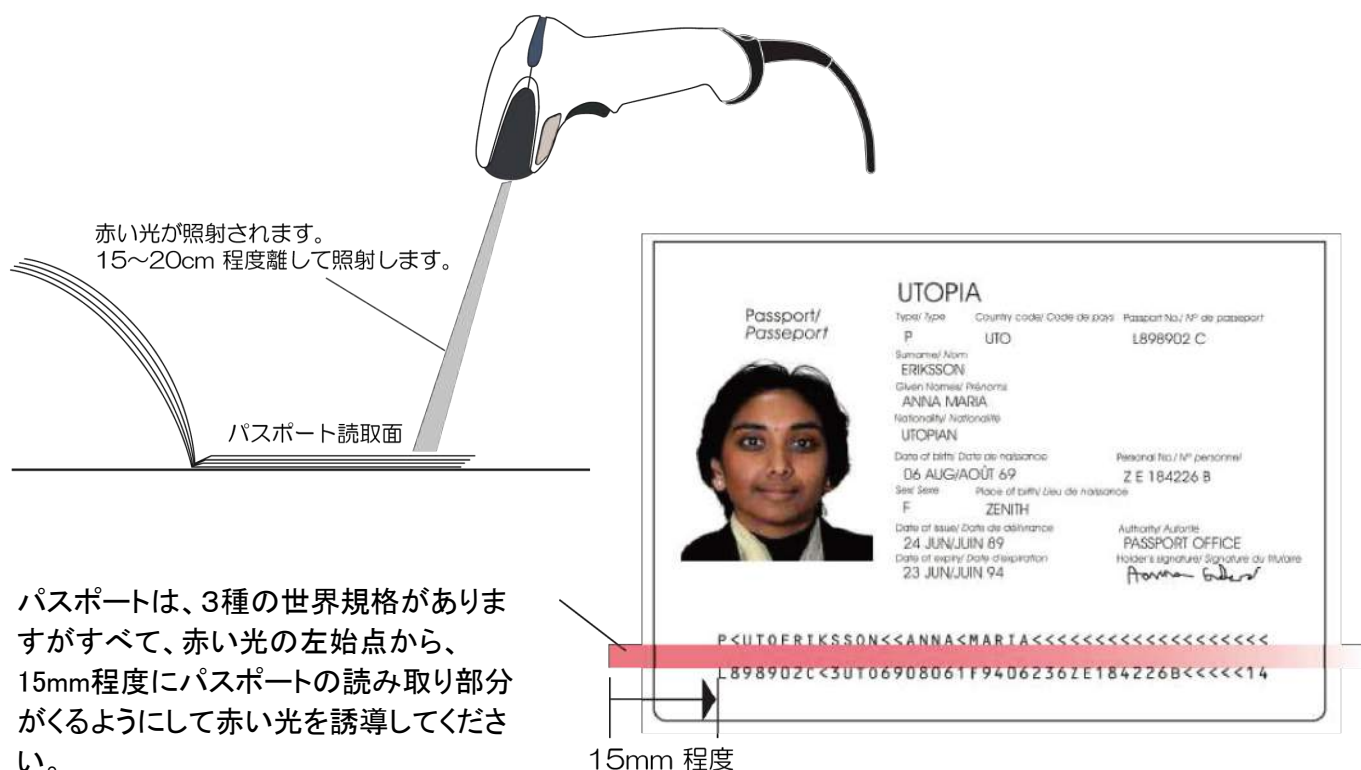
例: 2014年10月1日 = 2014/10/01

パスポートリーダー読み取りテクニック

■パスポートリーダーの解説

パスポートの読み取りは、OCR（光学式文字読取装置）の機能を使います。XENON 1900PP の内蔵カメラで撮影された画像を、パターン認証とチェックデジットの確認により正しい読み取りデータが入力されます。通常のバーコードスキャンと異なり、複雑な読み取りをしているため、読み取りに時間がかかる場合もあります。

●パスポートリーダーの読み取りの例



■安定した読み取りをさせるテクニック

安定した読み取りをさせるテクニックの一例を紹介します。

- ①被写体のパスポートを卓上に置きます。
- ②トリガーを引くと赤い光が照射されますので、パスポートの読み取り部分を光に当ててください。
- ③赤い光の左端と読み取り部分の左側が 15mm 程度に離れるように合わせます。
- ④パスポートが読み取られ、データ入力されます。

解説：パスポートの読み取り部分に赤い光があたっていれば、印字が逆位置でも、傾いていても読み取りは可能です。

■3秒以内に読み取れない場合のテクニック

- ①トリガーを引いて3カウントしても読まない場合、もう一度トリガーを引く。

解説：トリガーを引くことにより読み取りリセットが働きますので、読み取りが悪い時はトリガーを引き直してください。

- ②パスポートを少し動かします。
1~2cm 浮かせる。少し角度をつける。など

解説：認識された文字とチェックデジットが合致しないと、読み取りデータは転送されません。そのため、パスポートをスキヤナに近づけたり、角度をつけたりすることにより、再度、正しい文字を認識して正しい読み取りができる場合があります。